

ふりがな 氏 名	よしだ けいと 吉田 競人		職 名	教授
取得学位	博士(工学)	学会での受賞歴		
主な担当科目	1 学部:建築構造材料実験 1,2 建築構造力学 1,2 住宅施工、建築一般構造 1,2、住宅関連法規、生活工学、建築基礎製図1, 建築計画演習4, 住居学、基礎ゼミ、アカデミックスキルズ、家庭科 LA、卒業研究 2 大学院: 健康生活学特論、住生活環境研究			
所属学会	日本建築学会、日本免震構造協会			

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
1. 2級建築士勉強会	R04.5月～8月	4年生を対象に2級建築士1次試験対策を5月から8月まで毎週開催した。また、夏休みは集中講義を1週間行った。
2. 宅建勉強会	R04.5月～8月	宅建対策として5月から夏休みまで3年生を対象に週一度勉強会を開催した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	1 徹底解説 図解建築の力学II	共	2019年6月	井上書院	
	2 よくわかる剛性マトリクス法 Excel による構造解析入門	単	2022年4月	森北出版	
	3 建築設計製図	共	2022年4月	実教出版	
論 文	1. AR 技術を利用した地中梁と基礎の 鉄筋配筋検査用教材の開発	共	2022年9月	日本建築学会学術梗概集	
	2.AR 教材を利用した施工実習の遠隔 授業実施例	共	2021年9月	日本建築学会学術梗概集	
	3.木造長柱の座屈荷重に与える切欠 きまたは貫孔の影響に関する一考察	共	2020年10月	日本建築学会構造系論文集, 第776 号,	IF 査読あり
	4. 木造長柱の座屈荷重に与える切欠 きまたは貫孔の影響	共	2020年9月	日本建築学会学術梗概集	
	5.AR技術を利用した木造軸組構法の 教材開発	共	2020年9月	日本建築学会学術梗概集	
	6.構造用合板を使用した制振釘の開 発 その2 施工性向上を図った新形 状制振釘の制振性能	共	2019年7月	日本建築学会学術梗概集	

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	7.AR・VR 技術を利用した RC 造施工 実習用教材群の開発	共	2018 年 12 月	日本建築学会・第 41 回情報・システ ム・利用・技術シンポジウム論文集	査読あり
	8.座屈拘束ブレース拘束材設計式の ための適切な間隙	共	2018 年 3 月	日本建築学会構造系論文集, 64B	査読あり